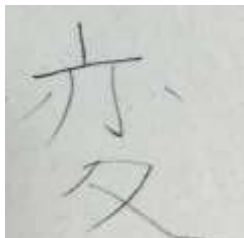




■ 年頭所感

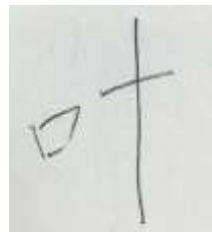
2019年の年頭所感でそれぞれ思いを書いたと思います。各クラス2名ずつ紹介します。

今年、昨年までできなかったことができるようにしたいです。とはいってもいきなりはできないので、小さなことから続けるようにしたいです。今まで何かをするにしても続かなかったので、続けるために目標を書いたりするようにします。最上級生になるので、それまでに続けることができるようになります。そうすることで、今までできなかったことができるようになります。今までは変われると思います。



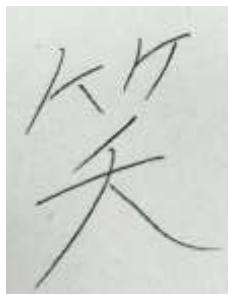
横田 優希
(2-1)

二〇一九年がスタートした。今年是最高学年でもあり、受験生の年でもある。僕はこれまでに、いろいろなことに挑戦し続けてきた。しかし、結果に結びつかない事が多かった。何度も挫折を味わった。でも、ここで諦めてしまえば、自分の夢まで諦めてしまう事になる。そこで、今年も諦めない強い気持ちをもち続け、願いが叶うようにと言う思いを込めて、「叶」を今年の漢字とし、夢が叶うように、これからも努力し続けていきたい。



岩崎 賢志朗
(2-1)

私は、バレーと勉強でつらい時が何度もあります。ですが総合の講座では「笑」を大切にしたらなんとかなるとおっしゃったのでつらい時、あきらめかけた時こそ笑う事を大切にしたいです。また、二年二組のクラス目標でもあるので大事にしていけたらいいと思います。私にとって「笑」は自分を救うことができる最大の手段と思っています。なので、今年「笑」を大切にしたいと思いました。



清水 りさ子
(2-2)

今年是最上級生になるので、「創」ということを目標に一年間過ごしていきたいと思っています。生徒会執行部や委員長、係長など、三年生である私達が、学校の中心となり、学校を支える存在にならなければなりません。私は、先輩方が創ってこられた附中の伝統を受け継ぎつつ、私達ならではの「独創的なアイデア」を活かした附中、附中際をみんなで、「創」りあげていきたいと思っています。そして、自分自身も多くのことに挑戦したいと思えます。



山田 和宏
(2-2)

今年是最上級生と共に、受験生となります。勉強も大事ですが、附中生でいられるのはあと一年となりました。横の漢字は「楽しい一年を過ごせますように」。「楽しい」から一文字とって「楽」です。あと一年で卒業してしまふ、という悲しい事実の中、みんなと楽しく過ごしたいからです。今年委員長にも任命していただき、少し忙しくなりますが、人との関わり方を大切に過ごしていく、というのが今年の目標です。



藤本 歩果
(2-3)

今年の目標は、漢字一字で書いた「努力」つまり「努力」です。今までは自分のためやクラスのために努力しかしていませんでした。しかし、二年生も残り約二ヵ月半で終わり最上級生となります。最上級生では自分やクラスのためではなく、学校のためにも努力しなければなりません。学年が上がるにつれて、任せられる仕事の責任が重くなっていることを実感できます。だから、学校のためにも積極的に働くということが今年の目標です。



西岡 大輝
(2-3)

皆さんは今、自分自身が書いた年頭所感の目標をすぐに思い出せますか？新しい事に挑戦しようとする時、最初こそ、思い返し意識することが必要なのかもしれませんが。意識せずに行動にうつせるようになった時こそ初めて「習慣」になり、その人をつくります。「小事は大事を生む」とあります。日々の小さな事をコツコツと積み重ね、大事にしていきましょう!!!